



新しい年である2023年が始まりました!

メンバーの皆さまが充実した幸せな一年となりますよう祈念いたします。今年もどうぞよろしく願いいたします。

メンバーの皆さま、年末年始の勤務大変お疲れ様でした。

12月の売上は予算には届いておりませんが、下期に入り前年との差が埋まってきています。今年度もわずかとなりますが、目標に向け歩みを進めていきましょう。

**12月店舗売上速報値(売上前年比) 全店舗計 98.4% (SM事業部 97.5% 百貨店 102.9%)**

12月業績の詳細につきましては1月下旬の経営懇話会で確認し2月に皆さまに報告致します。

## ◇ 11月全社業績結果 ◇

予算に対し全社 EBITDA は大幅未達ですが、百貨店・ベンダー事業が健闘し復調傾向が継続しています。

11月業績(新会計基準 組合試算) 下期ローリング予算反映				
項目/予算比	売上	売上総利益	営業利益	EBITDA
<b>全社</b>	<b>93.1%</b>	<b>88.4%</b>	<b>48.1%</b>	<b>54.8%</b>
SM	93.8%	90.6%	46.9%	54.5%
百貨店	92.7%	94.0%	80.4%	80.4%
外販	営業	91.6%	66.9%	75.6%
	製造	※2	※2	※1
	ベンダー	※2	※2	90.4%

※1実績マイナス、予算差マイナスのため算出なし ※2新会計基準では計上なし

### 【全社業績は引き続き売上が伸び悩み、利益創出に苦戦】

百貨店とベンダーは復調があり累計で前年比を捉えています。

経費コントロールの取り組みが進んでいますが、売上の減少に伴い利益創出に苦戦している状況です。

### 【下期以降、着実に売上が改善されています】

予算には未達も、SM 店舗売上はこれまでの施策や取り組みがつながり下期に入り改善傾向です。

### 【外販は歳暮ギフトで苦戦】

百貨店全体で歳暮ギフト不調があり自社商品の不調。しかし、受注の月ズレの影響があるため、12月業績で一部は取返しできると見込んでいます。

**11月累計結果： 営業利益予算比 66.9% EBITDA 予算比 77.8%** 今後年度予算達成にむけ、さらなる外販での販路拡大や全社での経費コントロールを講じ利益創出に取り組みます

### 【サロン・ド・アグリ・ジャポン開催@新宿店】

全国からこだわりの生産者が新宿店に登場し、日本の農業などの魅力を生産者との会話を楽しみながら再発見できるイベント実施



自社からは6つの生産者を出店(7日間で出店ショップを2~3日間の日替わりで変更)ショップの入れ替えが多く手間がかかるイベントではありますが、期間合計で前年比230%と大きく売上を伸ばすことが出来ました!



### 【夢福袋】

アプリ会員対象希少ウイスキーを含む  
50万円の夢福袋抽選販売



約8000名の応募の中から抽選で7名にお渡しをしました。

応募直後7日間で約7000名新規アプリ入会があり、入会促進の効果もありました。今回は全会員対象でしたが次回にむけては購買条件付ききなどより効果的な取り組みを検討していきます。

### 【お惣菜・お弁当大賞 最優秀賞受賞決定!】

デリカ・テッセン・トレードショーにおける寿司部門で『ジュレ仕立ての洋風お肉ちらし』が最優秀賞



おいしさはもちろん、素材をこだわり、ローストポークをたっぷり使用したオリジナリティあふれる商品です!

2月の受賞後に大々的に再販売を計画しています。

### 【シルクスイート・バイカラークワツサン】

新商品発売4日間、単価アップチャレンジ企画を実施  
【買えば買うほどお得! 2個お買い上げで1個半額!】



企画効果もあり、異常値を作り上げに貢献しました。月間通して反響がありました。

あまおう販売時と比較すると185%増加!!

### 【営業時間変更に関する報告】

### 目的

【お客さまの購買行動・ライフスタイルの変化】【競合環境の変化】への対応

今回は12月よりトライアルが開始された新高円寺店の営業状況について確認を行いました。

■12月1日トライアルスタート:【新高円寺店】(トライアル前 10:00~22:00→トライアル中 9:30~22:00)

競合店で9:00開店の店舗があること、過去より夕方以降の売上構成比が高いことから閉店時間は変更せず、開店時間を30分前倒しで検証しています。

12時までの売上構成比は計画比を下回ったが、12時までの売上は伸長(開店~12時:売上前年比105.7%)

となっていること、また夏にはお客様の来店が午前中にシフトすることが想定されるため、今後の売上増は見込めます。

課題としては、新高円寺駅と店舗の直結通路が10:00にならないと開放されないため、お客様の取りこぼしが発生しています。

引き続き、9:30に駅直通通路が開放出来るか交渉しつつ、検証を継続します。



組合としても、引き続き労働環境の確認や営業時間変更による効果の確認を行って参ります。

## ◇ 働き方関連 ◇

～11月よりPC使用時間適正化システム(IDLM)の活用が本格的にスタートしました！～

### PC使用時間適正化システム(IDLM)とは？

基本的なPC使用可能時間帯を設定(IMFSでは8:00～19:30)し、上司への申請をしない限り、PCを自動シャットダウンさせるシステムです。申請には、使用時間と具体的な理由を必要とし、働き方について本人と上司の相互確認を促します。システム導入により、以下のような課題解決の効果が期待されています。



<IDLMの位置づけ>

#### ■「環境の課題」の解消に向けての一手

- ・いつまでもPCを使ってしまう環境 → 一定の枠を設け、過度の使用を抑制。
- ・勤怠システム(TIME-3)に正しくない勤怠実績を登録しても確認ができない → 勤務実態の把握が可能になります。

#### ■「マネジメントの課題」の解消に向けての一手

- ・部下が何の業務で残っているか把握が難しい状況 → 定刻を超えてPCを使用するには、延長理由の登録が必要になり、業務内容の把握が可能となります。

#### ■「風土・意識の課題」の解消に向けての一手

- ・時間を長くかけても完成すれば(成果を出せば)良いという考え方 → (メンバー) 限られた時間でどのように完成するか(成果を出すか)工夫が必要になります。 → (上長)限られた時間で完成させる(成果を出させる)には、どのように部下をマネジメントするか、部下の業務のコントロールが必要になります。



部署によっては、上長が部下の業務進捗を把握できるようになり「時間外でも行った方が良いか明日の対応でよいか」といったやりとりにつながったという好事例も聞かれました。「アラートがなってはダメ」というのではなく、マネジメント者が部下の業務の進捗状況や進め方などを確認し適正なマネジメントにつなげていくことが重要です！

### みんなで前向きに 「働き方改革」をすすめていくために！

もう、「自分だけが無理をして、時間を長くかけ働いた時間を打戻りや未打刻で調整して成果を出せば良い・・・」という考え方は全員で辞めていきましょう！

法律・ルールを守った上で、決められた時間の中で

生産性高く働くためにはどうしたらよいかを一緒に考えていきましょう！

- ➔ 個人レベル・組織レベルでの生産性向上が必要。
- ➔ 会社としては、変化を恐れず、創意工夫により前向きに取り組んだ人が評価され、処遇にもつながる仕組みを考えていきます。

たとえば・・・

#### ① 業務工数を減らすこと

無くしても影響のない業務や自社で行わなくても外部に任せられる業務(アウトソーシングやプロセスセンター等)はないだろうか？

#### ② 本来の役割に応じた働き方

マルチジョブを進める中で誰が何をすべきか、業務分担の見直しをする  
**個々に行うことができる業務範囲・業務量・質を最大化すること**  
個人レベルでのスキル・能力の向上による生産性の向上

取り巻く環境が大きく変化の中で、過去と同じ考えや進め方では生き残れません。職場内だけにとらわれず広い視野でインプットの機会を大切に、柔軟な考えをもって会社・職場へと還元していくことで、個人としても組織としても成長していくことができます。

### ◇ 両宮社長からのメッセージ ◇

- 従業員の皆様、新年明けましておめでとうございます。12月の繁忙期から新年の初商と連日全社一丸となりお客さまのためにご尽力いただきましたことを、心より感謝致します。
- 昨年はエムアイフードスタイルのさらなる成長に向け、既存取組の着実な実行、また新たな取組みをスタートし定着に向けて周知徹底を進めてきました。その中で感じているのは、本人のやろうという意思が何よりも重要だということです。意味合いや効果を理解することが、前向きに取り組もう！という姿勢に繋がります。皆が情報を正しく理解し、従業員一人ひとりが意識改革を行える環境を経営として整えてまいります。
- 本年は新店のオープンも予定しています。新たなサービスや働き方を既存店で検証しながら導入していきます。全社で協力し、新店を成功させるための取組を進めていきましょう。
- エムアイフードスタイルは製造から販売まで出来る製販一体となった企業です。23年度はさらに成長していくには何が必要か。従業員の1人として何が出来るかという視点で考えて行動して欲しいと思います。従業員1人ひとりが自ら考え、目標に向かって全社一丸となって取組、2023年をさらなる飛躍の年にしていきましょう。

❖ 編集後記 ❖ メンバーの皆さま、最繁忙期の対応大変お疲れ様でした。営業面はもちろんですが、メンバーが事故なく働き方のルールを守りながら、安全に勤務できることが大事だと考えています。1月30日の経営懇話会でも改めて12月業績などは確認しますが、職場の課題や改善点があれば、是非組合役員へお伝えください。今年度も残り3か月を切りましたが、有休の取得は進んでいますか？3月に慌てて取得にならないよう、計画的に公平に、取得を進めていただくようお願いいたします。次年度に向けては、休日数の協議も現在進めています。業務改善を進めながら、休みやすい環境・ワークライフバランスの実現を皆ですすすめていきましょう。